

22 貸借対照表の見方6

(流動負債と当座資産を見ます)
当座比率比率をみることになります

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) 年 月

当座比率は100%以上が理想です。

当座資産 1	流動負債 1
-----------	-----------

流動資産 ÷ 流動負債 = 流動比率

$$[1] \div [1] = \mathbf{【100\%】}$$

当座資産とは 現預金・受取手形・売掛金・預金代わりの
有価証券までを言います。

今月までの当座比率はどれくらいですか

・今月の当座資産 ÷ 今月の流動負債 × 100

= 今月の当座比率%

$$[\quad] \div [\quad] \times 100 = \mathbf{【 \quad 】\%}$$

同業者と比較してどうですか

・同業者当座比率 < > 今月の当座比率 以上・以下

【 】% < > 【 】% 以上・以下

注) 流動資産は、当座資産以外に棚卸資産やその他の流動資産(仮払金・短期貸付金・未収入金)などがありますが、当座資産はより支払能力の高いものですし、現実の短期的支払能力と言えます。

この当座比率が高くても、現実には不良債権が入っていれば、その分を除外して考える必要があります。